

あなたの声を・・・

第35号

2009年5月

こうら議会だより

発行／〒522-0244 滋賀県犬上郡甲良町議会 TEL0749-38-5060 FAX0749-38-3421 編集／議会広報特別委員会
ホームページアドレス <http://www.kouratown.jp/>



甲良東小学校入学式

◎議会報告・審議内容……………	2
◎予算決算委員会報告……………	4
◎常任委員会報告……………	6
◎一般質問……………	7
◎新エネルギービジョン……………	11
◎甲良の駐在さん……………	12
◎議会日誌……………	12



勝楽寺の桜

審議内容

議案（24件）

条例制定

- 1、議会の議決すべき事項に関する条例
定住自立圏構想推進要綱に基づく協定の締結、もしくは廃止を求める。
- 2、甲良町職員の条例
勤務時間は『8時間』↓『7時間45分』に改正。

条例の一部改正

- 3、下水道条例
ほう素含有量1ℓにつき『2mg以下』↓『10mg以下』に改正。
- 4、町道路占用料徴収条例
電柱等の占用料改正。
- 5、介護従事者処遇改善臨時特例基金条例
介護従事者の処遇改善を図る為設置をする。

補正予算

- 6、介護保険条例
『平成18年度から平成20年度まで』↓『平成21年度から平成23年度まで』に改正。

追加議案

- 18、墓地公園事業
- 19、住宅新築資金貸付事業
- 20、土地取得造成事業
- 21、下水道事業
- 22、水道事業

新年度予算

- 13、一般会計
- 14、国民健康保険
- 15、老人保険医療事業
- 16、後期高齢者医療事業
- 17、介護保険

同意（2件）

- 1、公平委員会委員の選任
法養寺 松原久司氏
- 2、固定資産評価審査委員 委員の選任
下之郷 安澤邦彦氏
(再任)

平成21年度予算決まる!!

一般会計 37億8,200万円 昨年より 5億6,600万円 増
特別会計 24億1,217万円 昨年より 2億4,383万円 減
(全体 61億9,417万円)

重点施策の概要

平成21年度予算
呉竹地域総合センター改築 農業振興施策
子育て支援施策 緊急雇用対策 等
対前年 5億6,600万円増(17・6%)
の積極予算へ。
一般質問は、3月6日に、4人の議員が行った。

1、せせらぎ遊園のまちづくり

- 国際交流事業 900万円
- 甲良町新総合計画策定事業 700万円
- 2、青少年育成・子育て支援施策
子育て支援事業 3,500万円
未就園児一時保育事業 300万円
青少年支援活動活性化補助金 100万円

3、農業農村振興施策

- 農政推進専門員設置費 210万円
- コーディネーター設置費 24万円
- 園芸作物新光補助金 600万円
- 交流村整備費 6,900万円
- 地域農産物開発支援事業補助金 75万円

4、教育・文化振興施策

- 地域スクールサポート事業 69万円

6、安心安全のまちづくり

- 防火水槽設置事業 1,600万円
- スクールガード支援事業 20万円

7、観光振興施策

- せせらぎ夏まつり事業 400万円
- せせらぎウォーキング事業 300万円
- 甲良三大偉人ゆかりの地を訪ねて事業 180万円

8、雇用対策

- 緊急雇用対策事業 2,400万円
- ふるさと雇用対策事業 2,000万円

5、福祉施策

- 心身障害者医療費助成 100万円
- 独居老人等緊急通報システム事業 300万円
- 身障者自動車ガソリン費補助金 25万円
- 在宅高齢者介護用品支給事業補助金 280万円

- スポーツエキスパート派遣費 300万円

平成21年度特別会計総括表

(単位：万円)		
会計区分	予算額	前年比較
国民健康保険	8億8,341	6,323
老人保健医療事業	325	△7,866
後期高齢者医療事業	5,897	△2
介護保険	5億5,205	7,090
墓地公園事業	275	△1
住宅新築資金等貸付事業	5,674	△3,220
土地取得造成事業	600	△400
下水道事業	5億1,392	△2億2,890
水道事業	3億3,508	△3,410
合計	24億1,217	△2億4,376



呉竹センター完成予想図

平成21年度一般会計予算

【歳入】 (単位：万円)				【歳出】 (単位：万円)			
款名	予算額	前年比較		款名	予算額	前年比較	
町税	8億8,039	△555		議会費	6,236	△11	
地方贈与税	4,040	△160		総務費	5億0,061	△3,374	
地方消費税交付金	6,200	0		民生費	14億9,780	5億2,607	
地方交付金	13億4,000	2,000		衛生費	2億9,970	△1,947	
分担金及び負担金	3,662	△315		労働費	4,479	3,673	
使用料及び手数料	2,696	△418		農林水産業費	1億6,645	△2,807	
国庫支出金	1億7,476	6,269		商工費	3,210	△462	
県支出金	3億3,256	1億3,921		土木費	7,863	3,064	
繰入金	2億5,719	9,121		消防費	1億1,728	1,807	
繰越金	4,000	0		教育費	3億8,674	2,059	
諸収入	1億1,484	1,662		公債費	4億4,448	△1,423	
町の債	4億2,530	2億5,040		諸支出金	1億4,757	3,414	
その他	5,098	35		その他	349	0	
合計	37億8,200	5億6,600		合計	37億8,200	5億6,600	

常任委員会報告

予算決算



北川豊昭委員長

◎一般会計予算

歳入の部

- Q 基金の取りくずし後の残高はいくらか。
- A 20年度末で、9億39万円の残高見込み。そこから2億4,300万円を取りくずして当初予算に計上した。
- Q 同和对策事業元利補給は、100%出しているのか。
- A 県は元利償還金の80%で計算しており、平成22年度で終了する。
- Q 地籍調査事業補助金は国と県の負担割合は。
- A 国が1/2で、県が1/4。

歳出の部

- Q 高齢者配食サービスの課題と方向性は。
- A 平成14年から実施し、現在42名程であり、障害等で調理が困難な方がおられるので、今後も前向きに取り組んで行きたい。
- Q 草、木くず処理方法が難しくなってきたて、生ゴミ処理機と併用した補助制度の創設は。
- A 今後の課題として検討していく。
- Q 園芸作物振興事業の要綱は出来ているのか。
- A 要綱案は出来ている。新たに上水道の敷設に30万円限度で1/2の

- 補助、上水道使用料の補助、ハウス園芸の水道使用料(前年度ハウス使用料の1/2)を補助する。防虫ネットの棚120万円限度で1/4補助。甲良町の振興作物(いちご・トマト・ほうれん草・小松菜)に一部補助(1/10)する。
- Q ふるさと交流村計画運営協議会の委員は公募するのか、また、定員は何名か。
- A 運営協議会の要綱を検討中で、農業関係者、商工会、また公募による委員等15名で組織し、野菜部会、果樹部会、花卉部会等細分化された部会等の代表者が議論して運営協議会の設立をしていく。
- Q 甲良三大偉人ゆかりの地を訪ねて事業は。
- A 高虎公ゆかりの四国方面に120名の参加で2泊3日を計画している。



名神高速道路西明寺橋

- Q 名神高速道路西明寺橋緊急修繕工事委託で、国が管理する橋に町が負担する理由は。
- A 昭和42年6月に公団と管理移管協定。現在甲良町管理の橋。コンクリートの剥離がひどくて非常に危険。修繕し繊維質のシートを張って塗装する工事。
- Q 地積調査の進捗状況は。

- A 平成20年から呉竹地区(尼子地番、小川原地番を含む)13軒、新幹線から東側の圃場整備の出来ていない土地の地積調査を実施。結果470筆、隣接関係を加えると573筆が関係する土地。来年度は調査票を基に地元推進委員と境界の立ち会いの上、調査・測量を実施する。
- Q 防火水槽を企業の団

- 地の中に町が設置する必要性は何か。企業負担がなく全額町負担なのか。
- A 本来町が工業団地の開発時に防火水槽を設置しておくべきだったため、今回設置する。(賛成多数で可決)

◎国民健康保険特別会計予算

- 特定健康診査等の事業に対し国県の補助が200万円、町の持ち出しが700万円、義務付けていれば国が財政援助すべきと思うが。
- 国県の補助率は少ないが後は一般会計で対応することになっている。安定した国保運営をするためには、一般会計から財政支援をお願いしたい。

- Q 一般の保健事業で独自のメニュー等予防事業をすることは禁止されているのか。
- A 国保会計では集団検診後の栄養指導、運動指導等実施。脳ドック等も

- 厳しい財政事情の中、人数制限し実施しており、国保会計は国県のかんりの援助がないと厳しい状況。
- Q 義務づけられている特定健診と健康増進事業の範囲の区分けは。
- A 特定健診はメタボリックシンドロームに着目した生活習慣予防のための健診であり高血糖、高脂血症、高血圧の健診のメニューに着眼して実施している。一般健診は胃がん検診、子宮がん検診、大腸がん検診等は今のまでのガン検診で実施している。

(全員賛成で可決)

◎後期高齢者医療事業特別会計予算

- Q 特別徴収と普通徴収の対象人数の内訳は、対象者で老人保健会計、社会保険の扶養からの移行人数は。
- A 特別徴収765人、普通徴収275人、合わせて1,040人、社保から後期高齢者は327人、それ以外は713人。
- Q この制度をどう見るとかという視点が大事だが。
- A 社会保障の負担という制度の役割、以前と変わってきて国民にも負担を強いるという現在の社会保障制度に変わりつつある。今の段階では軽減措置等後退しないように今後も国に積極的に働きかけていきたい思いで事業の継続を実施している。

(賛成多数で可決)

◎介護保険特別会計予算

- Q 居宅介護住宅改修に



- ついて、昨年は何件あったか。
- A 20年度は約24件、19年度は33件利用があった。(賛成多数で可決)

◎墓地公園事業特別会計予算

- Q 販売促進の工夫はしているか。
- A 町のホームページに掲載したり、ダイレクトメールを発信。墓碑移転促進補助金は他の字でも墓地を移転する人を対象とし、特に両長寺地区にもう一度共同墓地の再整備を含め、一人でも移転

- の実績が出るようにしたか。
- (全員賛成で可決)

◎住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

- Q 金額別、要因別の資料から経済的な理由で返済が困難な方が4割近く存在している。経済的な支援策、借りたものは返すこと。法的な手続きもするべきだと思うが。
- A 町としてできるのは、支払い督促等で話し合いの場を持つ程度、それ以降になると強制執行競売になってくる。
- Q 1、2回しか返済していない人は、法的な手段に踏み切る決断がしている。踏み切る段階で議決も必要なので状況次第で論議が必要。全体として改善する基本方針があるか。
- A 根気強く話し合いをもち少しでも納めてもらう方向で進めたい。競売をしても手数料で1000

◎土地取得造成事業特別会計予算

- Q 土地売却収入600万円はどこの土地なのか。
- A 2筆の予定、呉竹183・07㎡と388・17㎡等。
- Q 現在の払い下げ基本方針は。
- A 平成8年の払い下げの検討委員会で決定しているの、登記等ができたところから随時地元と協議して公募等で払い下げる。
- (賛成多数で可決)

◎水道事業会計予算

- Q 石綿管更新はどれだけ残るのか。
- A 21年度で250mの工事を予定していて、町内全ての石綿管の更新が完了する。
- (全員賛成で可決)

◎下水道事業特別会計予算

- Q 工事請負費が1億90万円計上だが後何年かかるのか。
- A 20年度末で99%が供用開始区域となり、21年度予算は運動公園の中の面整備と金屋・北落地区の整備、正楽寺・金屋地区の一部の舗装復旧工事。現在事業完了は、21年度となっているが、未整備区域も多少あることから事業延期を検討中。
- (賛成多数で可決)

総務民生



山崎昭次副委員長

◎議会の議決すべき事件に関する条例（定住自立圏形成協定の締結等を議決に追加）

Q 中心市宣言は彦根市がマネージメント・主導を持つことになるが、見解は。

A 彦根市のリーダーシップがポイントになる。

Q 他町の協定内容はわかるか。また甲良でわかる仕組みがあるのか。

A 事前の連絡調整があるものと思っている。

Q 先行団体として応募したが、事前に議会に説明があったか。

A 9月の全員協議会で

説明をして動き出した。
（賛成多数で可決）

◎職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正（勤務時間週40時間を39・45時間に、日8時間を7・45時間に改正）

Q 休息時間が削除された法的な根拠は。

A 今までにできていなかったので、今回の改正にあわせて削除した。

Q 以前は労働基準法に休息時間があったが、今はないのか。

A 全面改正で削除された。

Q 行政として就労時間と休憩時間を分けて指導するべきと思うが。

A 勤務時間の短縮が住民に与える影響を極力少なくする。
（全員賛成で可決）

◎介護従事者処遇改善臨時特例基金条例（介護従事者の処遇改善を図る介護報酬の改定にかんがみ介護保険料の急激な上昇を抑制するため3年期限で設置）

Q 交付額算定の対象に地域支援事業を除くことになっているのはなぜか。

A 介護予防事業と包括的支援事業で予算計上しているの、直接ヘルパーなどの処遇改善には当たらないので除いた。
（全員賛成で可決）

◎介護保険条例の一部改正（介護保険料の引き上げ改正）年47、880円を年49、200円に（1、320円の増）

Q 引き上げないで済む方法が検討されたと思うが、その経過と見解は。

A 値上げせずにいきなりと審議会に諮ったが、高齢化率の高まりとサービス利用率の上昇に伴い、自然増の値上げは仕方がない。
基金を取りくずし、値上げ幅を最小限に抑えた設定である。
（賛成多数で可決）



産業建設文教



宮寄光一委員長

◎下水道条例の一部改正（ほう素含有量は1ℓにつき「2mg以下」を「10mg以下」とする）

Q ほう素含有量は、どこで計測しているのか。

A 滋賀県の公害防止条例で調査の必要な事業所が現在町内に2箇所ありそこで計測している。

Q 規定量を超えた場合、どのような影響があるのか。

A ほう素については、自然界でも存在しており海水や土の中にも含まれている。毒性はあまり強くなく即効的な影響はないと聞いている。
（全員賛成で可決）

◎道路占用料徴収条例の一部改正

Q 道路台帳が整備されているのであれば、それを利用して占用電柱などの位置を明確にしてはどうか。

A そのように検討する。

Q 町有地の占用料も単価は同じなのか。

A 同じである。

Q 上空の電線については、補償があるのか。

A 高圧線には補償があるが、通常の電線は電柱占用料に含まれると解釈する。
（賛成多数で可決）

一般質問 Q & A

(要旨)



金澤 博 議員

日本国憲法の理念にのっとり 人権擁護条例

Q 甲良町人権擁護条例制定の経過は。

A 一部町民の間違った部落問題の認識を紹介するなどして、差別的助長などしてきたことに対し、この人権擁護条例を有効活用されるべきだと思うが。

A 人権主監

A 平成6年度に制定された人権擁護条例を基軸に平成11年に策定した第二次総合計画では、住民主体のまちづくりと、人権

Q 隣保館事業の継続と近隣地域との交流を含めた、さまざまな取組が必要であるから改築をする、と理解しているがその認識はどうか。

呉竹センター改築の認識を問う

Q 隣保館事業の継続と近隣地域との交流を含めた、さまざまな取組が必要であるから改築をする、と理解しているがその認識はどうか。

A 人権主監

A 現隣保館は、昭和48年に建設され、地域課題の把握、相談活動を行ってきました。

入札の指名業者と最低価格について問う

Q 建設業者は、受注の減少と民間の設備投資の落込みに苦しんでいる。従来の方法でなく地元業者を優先して指名していただく方がどうか。

A 総務主監

A 工事、規模に見合う業者の施工能力を勘案して業者を選定することになるが、21年度の新規の格付審査会にお

いては意見を参考に充分検討していきたい。

Q 県や他市町のように最低価格制度の引き上げの実施を検討願いたい。

A 総務主監

A 本町において、滋賀県及び県内の状況をいち早く把握して、21年度の基準についてよく検討した上で町長とも相談しながら内部で検討し決定をしていきたい。

Q 今後は、隣保館機能をもたしつづつ、コミュニティ機能や、スポーツ、人権文化機能を合わせた地区内施設を活用した住民交流を積極的に促進さ

せる施設にしたいと考えている。



建部孝夫 議員

山崎町政の4年間を質す！

行政姿勢は！

Q 日本一の町長になる
との意気込みで、新しい
甲良の町づくりを、ひと
を大切に、町民主体の
町づくりを進め、町の発
展のため、一生懸命に誠
心誠意尽くされてはいる
ものの、一部に、町長は
「独断専行」や、などの
批判がある。
そのことについてどう
思われるか。

A 町長

職員が自分の能力を生
かして働ける組織づくり
をした。職員の意見を聞
き、町民の声を聞きなが
ら町政にあたっている。
広域行政でもリーダー
シップをとっており、私
はだれにも負けないよう
な町政を進めている。
このような話が出て
くるのは遺憾に思う。

何をしてきたのか！

Q 掲げた公約
実現に向けて、
いくつか手がけ
られた中で、子
育て支援や冬期
生活支援事業に
ついては評価を
している。
しかし、ふる
さと交流村は、
堅実な計画のも
とで推進され
た。赤字を出し
て町民に負担を
かけてはならな
い。

A 町長
役場組織の「グルー
プ制」は見直しが必要であ
る。と思うがどうか。
そして、他に何をされ
てきたのか。公約の達成
度はいかにばかりか。

A 町長
人権、環境、福祉、教育、
他6つの政策を進めてき
た。市町合併に変わり広
域行政をさらに進め、定
住自立圏構想に発展させ
ている。地産地消・農業

今後、何が必要なのか！

Q 一市三町の合併はな
くなった。
まさに、自主自立の行
政運営を強いられる。単
独でできないことは広域
行政で行うことになる。
今、「定住自立圏」の
推進に取り組んだした。
人口定住に必要な生活
機能確保のため、経済基
盤の確立、町の活性化を
図ることにある。

A 町長
合併が不可能になった
今、広域行政、定住自立
圏の取り組みが重要であ
る。それを活用しながら

自主自立のまちづくりに
努力していきたい。
交通インフラの整備、
文化都市、図書館の相互
利用、図書館の整備、地
産地消、文化・教育、産
業と雇用等である。
甲良だけではなく、一
市四町（愛荘町含む）が
元気になるように考えて
いる。



北川豊昭 議員

ふるさと交流村の見直しを！

Q ふるさと交流村の中
に設置予定のレストラン
の運営主体は、12月議
会での答弁では、まめな
生活自然派女性ねっと、
手づくりファーム等意見
交換しながら検討との事
だったが、その後の経過
は。

A 産業振興主監

レストランの運営計画
は、今後運営協議会を立
ち上げる中で協議を進め
る。

Q 農産物、加工品を販
売するには、甲良ブラン
ドになる主力商品が不可
欠になるが取り組みは。

A 産業振興主監

21年度に向けて取り組
んで行きたい。軟弱野菜
の推進、ホウレンソウ、
コマツナ、イチゴ、トマ
トの4品目は1年通した
生産体制で取組みたい。

Q 出店について、近隣
市町の生産者との連携
は。

A 産業振興主監

犬上振興の組織もあり
関係者と協議した中で取

り組んで行きたい。
Q 周辺道路の一日平均
通行量と集客見込数は。

A 産業振興主監

1日換算で平日は通行
量が9500台、立寄り
車数は平日で1021台
休日には1260台の算定
です。

Q 4月にオープンの愛
知県幸田町の道の駅の調
査に参考の為、行つて来
たが、1日の車両通行量
が1万82台、そのうち
立寄り人数は502人と
し、年間換算で18万1
千人しか見込んでない。
一人1,000円使った
として、1億8千万円の
年間売上になる。本町
の収益見込みは。

A 産業振興主監
イベント計画と合わせ
て2500万円の収益
見込みの試算をしている
Q 愛知県幸田町の場合
82人が出資して合資会社
のような法人企業を立ち
上げてスタートする。
交流村の運営主体は。

A 産業振興主監
ふるさと交流村運営協
議会を立上げ、4月から
NPOなどを議論する。
Q 公設民営方式との説
明だが、すべて民間経営
で順調にいく保障がな
い、大幅な補助金の減額
に伴う、事業規模の縮小
見直しが必要と思うが。

A 産業振興主監
補助金がなくなるから
事業の縮小とは考えてい
ない。基本計画に沿って
進め、コストの削減がで
きる事採用したい。
Q 自主財源7割、国の
補助金がゼロに近い愛知
県幸田町が施設建設費用



4月4日オープンの愛知県幸田町の道の駅

1億2千万円。甲良町は、
直販施設以外に、農産物
加工体験室や展示温室、
シャワー室等が、かなり
あって建設費、維持費が
大幅な負担増になる。こ
のツケはいずれ、住民負
担として、町民に廻って
来る。見通しがたつてか
ら、拡張はいくらでもで
きる。見直しが必要と思
うが、町長の見解は。

A 町長

事業の見直しは、年度
毎で充分している。財源
は、極力、国に働きかけ
て財源確保に努める。

Q 税収7割の町が甲良
町の5分の1の事業規模
でスタートする。
町民が安心する初期投資
の考えは。

A 産業振興主監
指摘された部分は鋭意
努力していく。

振興は甲良町がイニシア
チブをとってとの思いで
やっている。
交流村については、赤
字を出して町民につけが
回らないように計画し、
執行していきたい。

グループ制については
職員の意識が高まってい
ないこともあって意識変
革に努める。
子育て支援は完成に近
づき、他は30%から50%
ぐらいの達成度と認識し
ている。

自主自立のまちづくりに
努力していきたい。
交通インフラの整備、
文化都市、図書館の相互
利用、図書館の整備、地
産地消、文化・教育、産
業と雇用等である。
甲良だけではなく、一
市四町（愛荘町含む）が
元気になるように考えて
いる。

甲良町地域新エネルギービジョン（概要）

地球環境問題の深刻化

地球温暖化は、100年間で平均気温にして2℃、高緯度違法では4～6℃の気温上昇をもたらすとされています。その結果、自然災害の増加、動植物の生態系への影響、海面の上昇、熱帯性の病気の拡大などの深刻な事態の発生が予想され、日本政府をはじめ世界中が対策に取り組んでいます。

エネルギーの自給率向上が必要

日本のエネルギーは大半を輸入でまかない、また、約5割を石油に依存しています。国産のエネルギーを増やすなどの改革が必要となっています。

新エネルギー導入による二酸化炭素排出の削減

新エネルギーの導入は、二酸化炭素の排出量の少ない自然エネルギーの利用を増やし、温暖化を防止するものです。甲良町の優れた環境を守るためにも必要な施策です。

せせらぎ遊園のエネルギーづくりに取り組む!!

主な新エネルギー

●太陽光発電

太陽電池を使用し、太陽光から直接電気を発生させます。

●太陽熱利用

建築物の屋上やベランダなどに集熱器を設置し、太陽熱を集熱し、給湯などに利用します。

●中小水力発電

水の落差を利用して、水車を使用してタービンを回すことにより発電するシステムです。

●バイオマス

動植物に由来する有機物で、エネルギー源として利用可能なものを指します。

●風力発電

風の運動エネルギーを電気エネルギーに変換します。



甲良西小学校に設置された太陽光発電



下之郷桂城の滝（中小水力発電）

社会保障の実現を

ⓐ 格差と貧困を広げる
自民・公明政府のもとで憲法に定める社会保障を町行政でいかに実現していくのか、山崎町長の基本姿勢として聞きたい。
雇用情勢の悪化のうえに毎年2、200億円の社会保障費削減路線が経済第2位の日本でさらなる格差と貧困を広げている。その1つ、後期高齢者医療制度にどう向き合うのか、そして、障害者自立支援法の応益負担に対する考え方と、この軽減策を町としてどう考えるのか。

ⓐ 町長

後期高齢者医療制度は特に介護保険に続く保険料負担や天引きなど、高齢者の生活に対する不安

などを与えている。現在実施されている軽減策が決して後退しないように、連合の議会等を通して今後も働きかけたい。
障害者自立支援法における応益負担は、所得に応じた応益負担を原則にした制度が望ましい。
弱者であることや就労しにくい環境の今日の状況から、軽減策を町としても今後の法改正を眺めながら前向きに検討したい。

ⓐ 鳥獣対策の抜本的、根本的強化が必要で、今回、農水省が発表した鳥獣被害防止特措法の制定に基づいて、どういう対応をされようとしているのか。

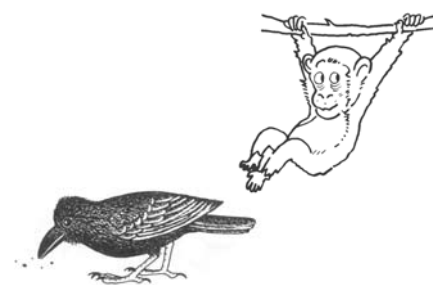
ⓐ 産業振興課長

鳥獣被害では、19年度は25件、20年度では13件、猿、鹿、カラス被害の通報があった。正楽寺区へ出向き、この1年間で獣害に対する座談会、また困っている内容の実態調査等を含めて現地調査を取り組んできた。
鳥獣被害防止総合対策事業を活用し、地域協議会を21年度で立ち上げ、関係団体とともに協議・

鳥獣被害防止特措法の活用を

調査し、22年度に向けては、4月以降、被害防止計画素案を作成し侵入防止さく設置のハード事業も取り組みたい。

この特措法が決まったのが19年12月。その事業内容が決まったのが2月と報道されている。行政としては被害が以前から寄せられていたのに、対応が遅いと思う。他町と連携すると、200万円も加算されることにも注目して取り組んでいきたい。



新エネルギー導入に関する甲良町の特徴

- 農用地が約半分を占める
- 扇状地上に発達したなどらかな地形で水資源が豊富
- 森林は町域の南東にわずかに分布
- 日射量は1,379 kWh/m²/年
- 風況は地上付近で月平均2～4m/s、高度50mで4～4.5m/s、高度70mで5～5.5m/s程度
- 上水道、灌漑用水が町内に張り巡らされ、貴重な水資源がある
- 住民自身によるまちづくりが行われている
- 交流拠点施設の整備が進んでおり、今年度より設計に入っている

導入による二酸化炭素排出削減量

活用可能量が算出できる太陽エネルギー、小水力エネルギーをすべて用いると、現在の甲良町の排出量の8.7%に相当する分が削減出来ます。

新エネルギー導入ビジョン

- 新エネルギーの導入を町と町民、事業者が協力しながら進めていくために次の3つの柱で構成します。
- 新エネルギー導入を推進するための体制づくり
- 先導的新エネルギー導入プロジェクト
- 持続的な新エネルギー導入を進めていくためのシステムづくり

シリーズ 町の元気もの

強く思い志しました。ですから、今、こうして警察官の制服を着て、地域と一番密着している駐在所での「地域のお巡りさん」ができていることに幸せを感じているところではありますが、その反面、大きな責任感もひしひしと感じております。



甲良駐在所員 吉川幸祐さん

私が、警察官を目指した思いとしまして、育った滋賀県で、滋賀県のために何かできることはなにかと考えたところ、幼少時代夢にみた「地域のお巡りさん」しかないとお巡りさん

ばっていく所存です。いろいろな意味で日々駐在所での勤務及び生活の中で人間的に成長したいと思っておりますので、甲良町の住民の皆様よろしくお願い致します。

「甲良の駐在さん」
甲良駐在所長 酒井陽一さん

駐在所での勤務は、巡查部長の時以来です。約15年ぶりとなります。私の仕事は、甲良町の治安を守ることであり、「安心・安全の街づくりリーダー」としてがんば

議会日誌

2月

- 3日 定住自立圏構想研修会
- 4日 彦根市・犬上郡営林組合代表者会
- 5日 議会全員協議会、第1回臨時議会
- 13日 犬上郡町村議会議長会議員研修会
- 16日 広報特別委員会
- 17日 湖東広域衛生管理組合定例会
- 18日 高齢者保健福祉審議会
- 20日 例月出納検査・定期監査
滋賀県町村議会議長会定期総会・正副議長研修会
広報特別委員会
大滝山林組合財政委員会
大滝山林組合林業委員会
- 23日 学校給食センター運営委員会
- 24日 彦根市・犬上郡営林組合定例会
- 26日 水道運営委員会、下水道審議会
国保運営協議会、介護保険運営協議会
- 27日 議会運営委員会
彦根犬上広域行政組合定例会

3月

- 1日 犬上川クリーン作戦
- 5日 全員協議会、定例会（開会）
- 6日 定例会（一般質問）
- 10日 予算・決算常任委員会、議会運営委員会
広報特別委員会

- 11日 予算・決算常任委員会、全員協議会
- 12日 産業建設文教常任委員会、総務民生常任委員会
- 14日 中学校卒業式
- 19日 東西小学校卒業式
議会運営委員会、全員協議会、定例会（閉会）
- 23日 例月出納検査・定期監査
- 25日 東西保育センター卒園式
- 26日 滋賀県町村議会議長会理事会
彦根休日急病診療所運営委員会
- 27日 広報特別委員会
- 30日 議長村町ゲートボール大会

4月

- 1日 教職員着任式
- 6日 東西保育センター入園式
- 8日 東西小学校、中学校入学式
- 9日 春の交通安全運動啓発
- 10日 広報特別委員会
- 13日 全員協議会
- 20日 広報特別委員会
- 21日 例月出納検査・定期監査
- 22日 多賀大社古例大祭
- 23日 犬上郡町村議会議長会総会
- 24日 全員協議会



広報特別委員会
委員長 濱野圭市
委員 宮部孝一、山崎昭夫、山恵二
副委員長 西澤伸明

「議会だより」新メンバーで発行させていただくことになりました。わかりやすく、親しまれる議会だよりをめざして頑張ってください。また、今回から新しくシリーズ「町の元気もの」を掲載します。皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。

(宮部孝一)

せせらぎ

新緑も色濃くなっていますがすがすがしく過ごせるようになりました。町の木々もわれ先にと芽吹いてきて、力強い生命を感じさせてくれます。いかがお過ごしでしょうか。あわただしかった卒業、転勤、入学、入社も一段落して少しなれてきたのではないのでしょうか。

今日、世界中を不況の嵐が吹いています。しかし、この甲良の町を今以上に住みやすい町にするために、経済、教育、交通など様々な面での整備を推し進めたいと考えています。

そして、将来に渡り、希望に胸を膨らませている子どもたちが、安心して暮らせる町となることを願ってやみません。